

## 国保の都道府県単位化による保険税の更なる引き上げを許さず、国保税の引き下げと減免制度の拡充等を求める松本市長への要請署名運動を展開しよう!



### 10/30 運動成功のため事前学習会開催

松本地区社保協は、県下19市中一番高い国保税の引き下げ等を求める松本市長への要請署名運動を成功させようと「事前学習会」を10月30日開催し、加盟団体から16名が参加しました。(左写真)

学習会で基調報告・提案を行った湯

浅事務局長は、請願を行った9月市議会でのやり取りで明らかになった点について、①「松本市の国保税がなぜ県下19市で高いのか」健康福祉部

長の答弁で明らかにされたこと、②「低所得者にとって松本市の国保税は重い負担になっている」と保険税担当課長に認めさせたこと、など重要な諸点があったことを報告しました。

### 松本市の国保税が高い3つの構造的な問題点～深刻事例も報告

松本市の国保税は、なぜ高いのか。9月議会で、議員の質問に健康福祉部長は3点の問題を挙げ答弁しました。「①松本市は前期高齢者(65～74歳)が県下19市で一番少なく、前期高齢者交付金が低いこと、②松本市の国保加入者の平均所得水準が19市中で一番高いこと、③一般会計からの法定外繰入で差が出ていること。」

部長が指摘した3つの構造的な問題は、他市にない特別の施策を実施しない限り、国保税は高くなってしまいう宿命的な問題です。少なくとも長野市並みに一般会計からの法定外繰入を恒常的に

実施しない限り、松本市の国保税は県下19市最高額の状態を脱することはできません。また、県下19市中最低の国保税納付率の向上も期待できず、低所得者への重税感の解消にもなりません。

学習会では、松本協立病院の鈴木麦穂リサーチャルカが病院で発生した国保税滞納者による「手遅れ死亡事例」2例を紹介し、その改善を訴えました。(右写真)



### 都道府県単位化で、国保税の更なる引き上げの危険性

続いて湯浅事務局長は、来年4月実施予定の国保の都道府県単位化の影響について、長野県が公表した第3回の事業納付金等の算定結果をもとに、その問題点を指摘しました。松本市の国保は上記の構造的問題を抱えており、県下77市町村

で最高額の「激変緩和措置」を行なったとしても、一般会計からの法定外繰入を実施しない限り、保険税の更なる引き上げがされる危険があることを告発しました。

### 国保改善へ市長の政治的決断を迫る要請署名運動の重要性

松本地区社保協は、高すぎる国保税の引き下げ等を求める松本市長への要請署名運動を提起しています。署名運動は、11月から来年1月末までの3か月間を想定し、目標は2万筆(有権者の約1割、国保加入者の約4割)です。各加盟団体では、団体毎の目標を設定し、構成員への協力・提起を徹底させ、目標達成に向け頑張りましょう。

松本市との懇談予定(国保・介護問題)  
11月16日(木)午前10～12時

長野県社保協主催国保連続学習会第2講座  
11月19日(日)午前9:30～12:00  
松本駅前会館